

【目指す学校像】

- ・楽しく感動のある学校
- ・安全・安心に生活できる学校
- ・教育環境の整ったきれいな学校
- ・保護者・地域住民に信頼される、開かれた学校

荃崎学園 荃崎中学校 便り

いなほ

R2.1.8 発行 No.10

【目指す生徒像】

- ・自ら学び、教養のある生徒
- ・心豊かで、礼儀正しい生徒
- ・心身を鍛え、がんばりのきく生徒
- ・よく働き、人のために奉仕する生徒

## 大きな夢と希望をもってスタートを！

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、気持ちも新たに希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は、本校の教育活動の推進に、格別の御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございました。本年も一層の御支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

さて、冬休みが終わり、生徒達が元気に登校してきました。休み中は、大きなケガや事故が無かったようで、安心しました。そして、今日からの残り3か月は学年のまとめと進級・進学に向け大切な時期となります。特に9年生にとっては、それぞれの進路を決める受験が控えています。気持ちが不安定になったり、風邪やインフルエンザ等も流行ったりする時期ですが、自分を信じ、健康管理をしっかりと行って、もてる力を十分に発揮できるよう努力して欲しいと思います。また、7・8年生にとっては、新しい学年に向けて力を蓄え、準備する期間となります。これまでの自分を振り返り、良いところはさらに伸ばし、足りないところは、しっかりと改善できるよう、一日一日を大切に過ごして欲しいと思います。我々職員も一丸となって、生徒一人一人を全力でサポートしていきたいと思っています。



### 校内持久走大会

12月13日(金)に冬の恒例行事となっている校内持久走大会を実施しました。あいにくの曇り空で、気温が上がらない中での実施となりましたが、生徒達は、寒さをもとせず、自分のために、クラスのために精一杯頑張っていました。

【総合の部】

第1位：9年1組 第2位：8年2組 第3位：8年1組

【駅伝の部】

第1位：8年2組Aチーム 第2位：9年1組Aチーム  
第3位：9年1組Bチーム

【駅伝の部区間賞】

第1区：長谷川美愛さん 第2区：川口惺大さん  
第3区：谷井莉彩さん 第4区：尾形グスタボさん

【駅伝の部学級対抗】

第1位：9年1組 第2位：8年2組 第3位：9年2組

【持久走の部学級対抗】

第1位：8年1組 第2位：9年1組 第3位：7年2組

【個人の部】

<男子> <女子>

第1位：河嶋拓海さん(9年)、埴野々花さん(7年)  
第2位：泉川春樹さん(9年)、鈴木奈々美さん(9年)  
第3位：横嶋翔太さん(8年)、木村優心さん(8年)



### 「Society5.0を切り拓く 資質・能力」と学力観

民間試験の導入、記述式問題の導入がいずれも先送りになるなど、大学入試改革が頓挫しています。大臣の失言や自己採点基準の難しさなどがクローズアップされていますが、私は大学入試改革はどうしても行わなければならないと思っています。大学が変わらなければ、高校も変わりません。

今回の入試改革の背景には、国の将来に対する強い危機感があります。今の子どもたちが社会に出ていく頃には、Society5.0の時代を迎え、人々の生活や仕事の在り方は、想像できないような形に変わっているかもしれません。また、国際的には、グローバル化・多極化の進展といった変動が起こっています。

このような変革期を迎えるなかで、これまで通りの知識偏重の学力観では、社会を生き抜く人間を育てることは不可能に近いのです。自ら問題を発見し、他者と協力して解決していくための資質や能力を育む必要があるという考えが、今回の改革のベースとなっているのです。

新学習指導要領ではこうした考えに基づき、「主体的・対話的で深い学び」という方向性が示されるとともに、そのための授業改善が求められています。すでに本校はそうした方針を具体化すべく、昨年度から「学び合う学び」、「オーセンティックな学び」といったキーワードを掲げて授業実践に取り組んでいます。

しかしながら、現実問題として大学入試や高校入試が変わらなければ、本質的な部分で中学校は変わらないのです。学力観が変わるのだから評価方法も変わらなければなりません。真に子どもたちの未来を思うなら、こうした教育改革を成就させねばならないのです。(文責 校長 八重樫 通)